



## 令和6年度 酒田市立酒田看護専門学校第13回生

### 卒業証書授与式

#### 在校生送辞

この冬は「十年に一度の大寒波」という予報が毎日のようにニュースで流れました。その寒さも過ぎ去り、日ごと陽ざしがあたたかく感じられる季節となりました。

酒田市立酒田看護専門学校第13回生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。この佳き日に新たな道へと進んでいく先輩方の門出を在校生全員でお祝いできること、とても嬉しく思います。

振り返ると、2年前の春入学したばかりの私たちに先輩方は優しく声をかけて、学校のことを教えてくださいました。その時の先輩方の背中はとても大きく、不安と緊張でいっぱいだった私たちにとって、とても心強い存在であったことを覚えています。

学校生活では「看護の日」や「酒看祭」などの学校行事を通し、活動の中心として私たち後輩を引っ張っていただきました。来校した地域の方々に看護の学びを伝える姿や、笑顔で丁寧に接する様子から、地域に根差した看護の学びを深めていることが伺え感銘を受けました。私は酒看祭で血压ブースを担当した際に、地域の方々の生活状況を聞きながら、普段の生活の中でも健康を保てるよう、減塩の方法や血压についての知識を分かりやすく説明する先輩方の姿が今でも印象に残っています。

宣誓式では、自己の看護観や看護の道を進むことへの決意を堂々と発表する姿に感動を覚えました。先輩方の宣誓をお聞きし、改めて自分が目標とする看護とは何かを深く考えてみました。その中で私は、対象者一人ひとりの個別性に配慮し、その人に合った看護を考え行動できる看護師になりたいという看護観を思い描くことができました。

3年間の学びの集大成であるケーススタディ発表会では、病気や障害を抱えながらもその人らしく生活するために、対象者の生活背景を捉え、強みを活かすことが大切だということを改めて考えることができました。先輩方が臨地実習において対象者が発する言動の意味を考え、相手を深く知ろうとする姿勢で臨んでいたからこそ、そのような実践に繋がっているのだと思いました。

どんなときでも明るく、お互いを高め合い、何ごとにも努力を惜しまず探求し続ける13回生の姿は、いつも私たちの目標であり憧れです。来月には私たち14回生が最高学年となります、先輩たちが私たちの憧れ、目指す姿であったように、後輩たちにとって頼りになる存在であり、ロールモデルとなれるよう努力していきたいと思います。

最後になりましたが、皆様のご健康と今後ますますのご活躍を心よりご祈念して、在校生代表の送辞とさせていただきます。

本日は、ご卒業誠におめでとうございます。

令和7年3月1日

酒田市立酒田看護専門学校

在校生代表 第14回生 半澤楓乃

